

2023年12月期 第3四半期決算説明資料

STOCK CODE : 3695

GMO RESEARCH

代表取締役社長 細川 慎一
取締役グローバルCFO 森 勇憲

2023年11月6日

目次

1. 結論と要約

2. 事業の概況

Appendix

1. 結論と要約

結論と要約 | 決算サマリー (1Q~3Q累計)

プラットフォーム強化の結果：

- 売上高：3Q累計売上はほぼ前年並み。
- 営業利益：先行投資の影響から、3Q累計実績は対前年▲11.8%
- 売上総利益：粗利率の大幅改善。

(単位：百万円)	2022 (1-9月)	2023 (1-9月)	増減額	増減率
売上高	3,771	3,801	+30	+0.8%
売上総利益	1,780	1,848	+68	+3.8%
営業利益	344	303	▲40	▲11.8%
経常利益	430	311	▲118	▲27.6%
最終利益	318	217	▲100	▲31.7%

結論と要約 | 決算サマリー (3Qのみ)

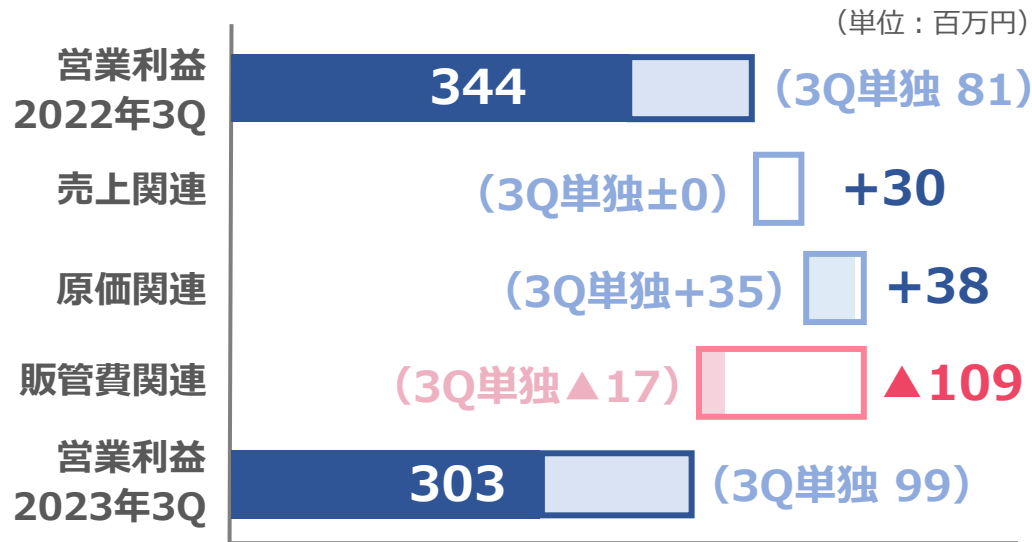
プラットフォーム強化の結果：

- 売上高：3Q売上はほぼ前年並み。
- 売上総利益：粗利率の大幅改善。
- 営業利益：先行投資を含めても3Q単独実績は過去最高。対前期+22%。

(単位：百万円)	2022 (7-9月)	2023 (7-9月)	増減額	増減率	
売上高	1,220	1,219	▲0	▲0.1%	
売上総利益	574	610	+35	+6.1%	3Q単独 過去最高
営業利益	81	99	+18	+22.4%	3Q単独 過去最高
経常利益	104	90	▲13	▲12.8%	
最終利益	71	62	▲9	▲13.2%	

結論と要約 | 営業利益推移

- 粗利は前年同期比+68百万円増（+3.8%）、粗利率向上約1.4 pt。
- 前年下半期以降、プラットフォーム強化のための販管費が先行増加していたが、収益性改善に結実し、3Q単独期間として過去最高の営業利益を実現。

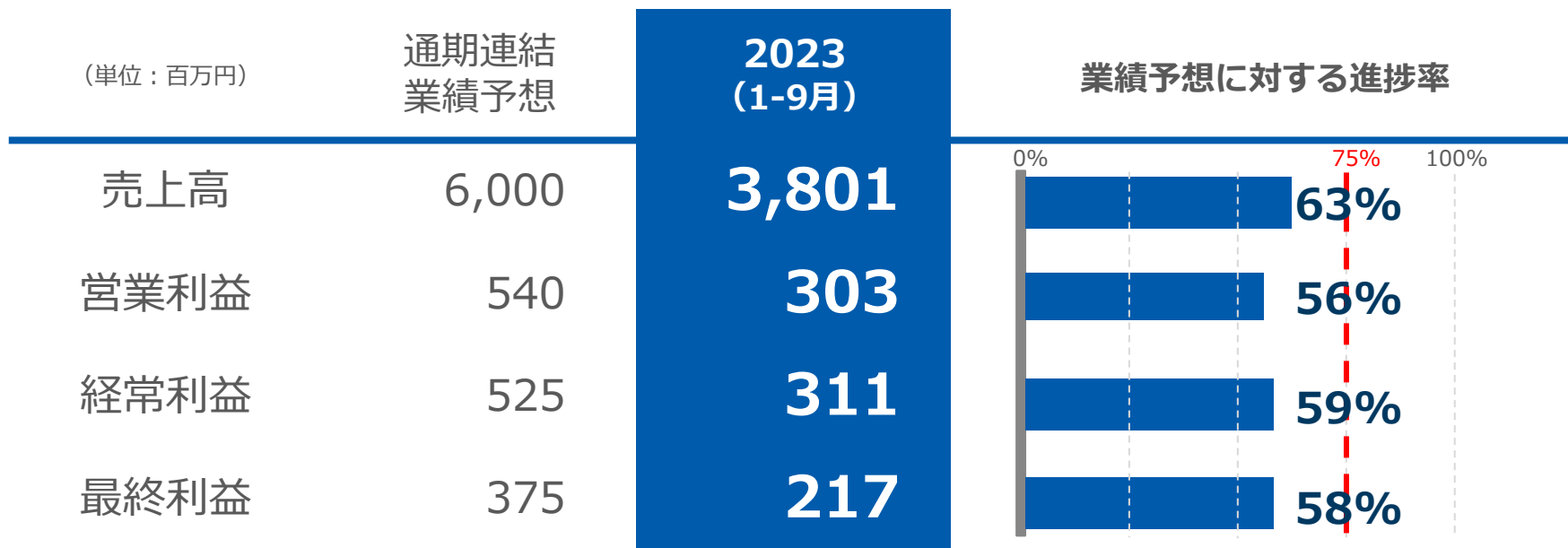


主な増減要因

- ・売上関連
原価率の高い案件受託を絞り、売上増は限定的。
- ・原価関連
原価率の高い案件受託を絞り、粗利率が増加。
- ・販管費関連
人件費等の増加（プラットフォームチームの人員体制強化）

結論と要約 | 連結業績予想に対する進捗

- 第3四半期までの進捗率および第4四半期の見通しを踏まえ、2023年12月期通期の業績予想を修正。次ページ参照。



結論と要約 | 連結業績予想の修正

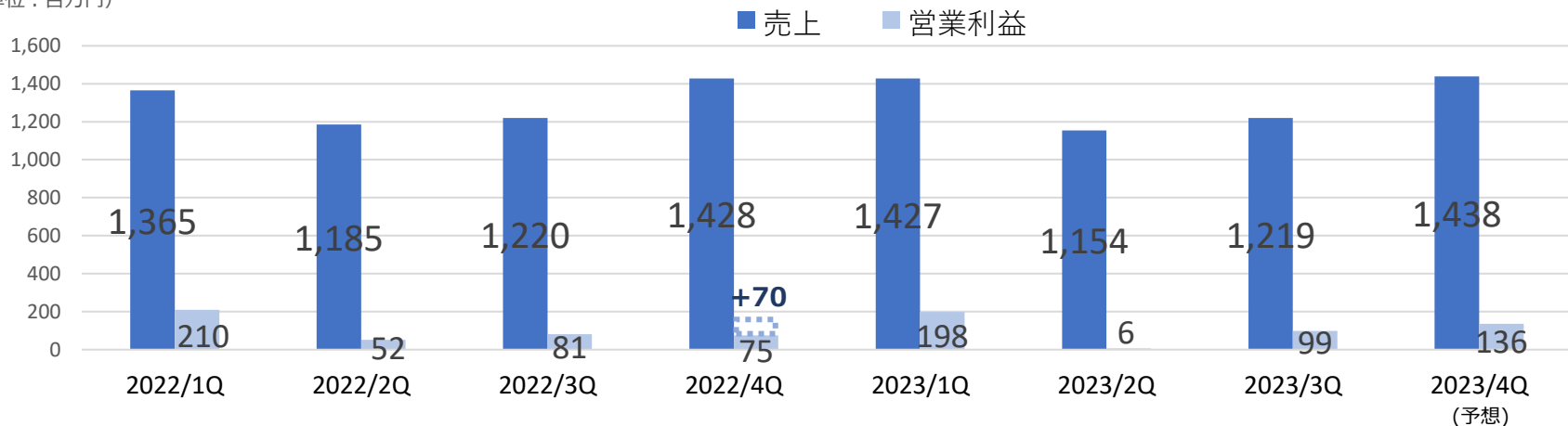
- プラットフォーム以外の粗利率の低い売上が絞った結果、当初業績予想に対し、売上高見通しが10%以上減少したため、業績予想を修正しました。
- 営業利益は対前年4.8%増、最終利益は8.8%減を予想。

(単位：百万円)	2022年度実績	2023年度 当初業績予想	2023年度 修正業績予想	対前期実績 増減	対前期実績 増減率	対当初予想 変動額	対当初予想 変動率
売上高	5,200	6,000	5,240	+40	+0.8%	▲760	▲12.7%
営業利益	419	540	440	+20	+4.8%	▲100	▲18.5%
経常利益	458	525	445	▲13	▲2.9%	▲80	▲15.2%
最終利益	356	375	325	▲31	▲8.8%	▲50	▲13.3%
1株当たり 当期純利益(円)	218.39	229.69	199.07	▲19.32	▲8.8%	▲30.62	▲13.3%
総配当性向(%)	50.0%	50.0%	57.7%	—	—	—	—
1株当たり 年間配当額(円)	109.14	114.84	114.84	+5.70	+5.2%	変更なし	変更なし

結論と要約 | 四半期ごとの売上高・営業利益推移

- プラットフォーム強化による収益力改善（損益構造変化）の結果、3Q期間の売上成長は限定的だが、営業利益は過去最高を更新。当該進捗を反映した2023年4Qの見通しを踏まえて、2023年12月期の業績予想を修正しました。なお、2022年4Qには70百万円の先行投資がありました。

(単位：百万円)



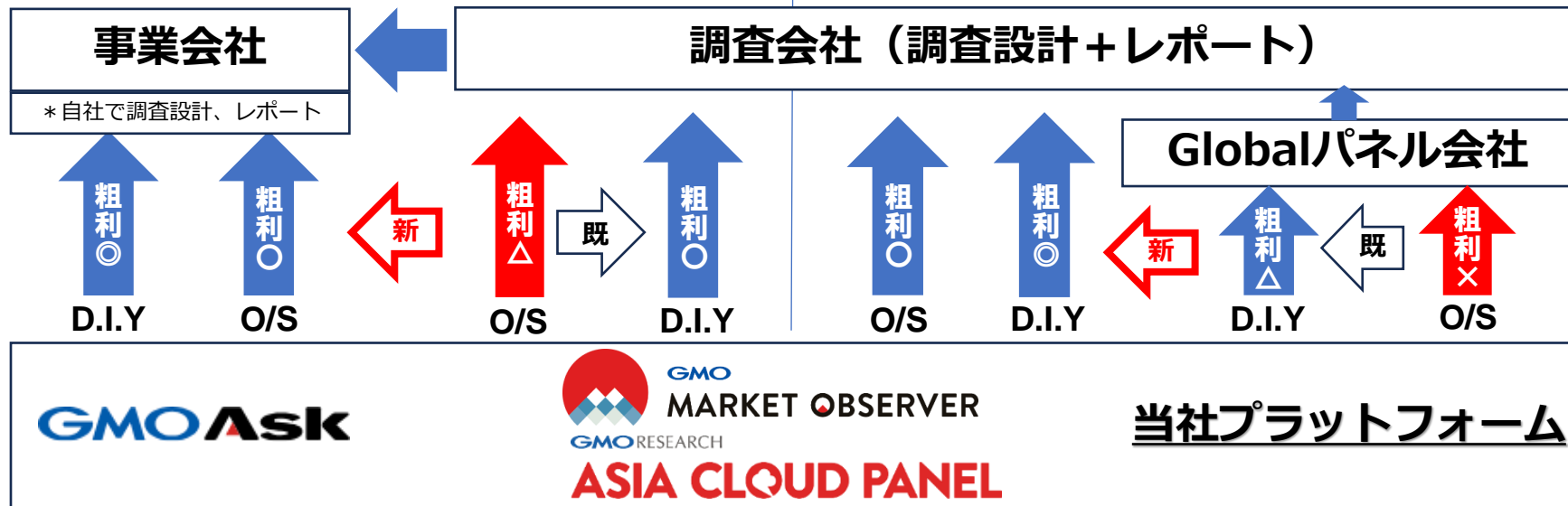
2. 事業の概況

プラットフォーム強化の概要

■ 当社のプラットフォーム整備の結果、国内・海外の新方針追加

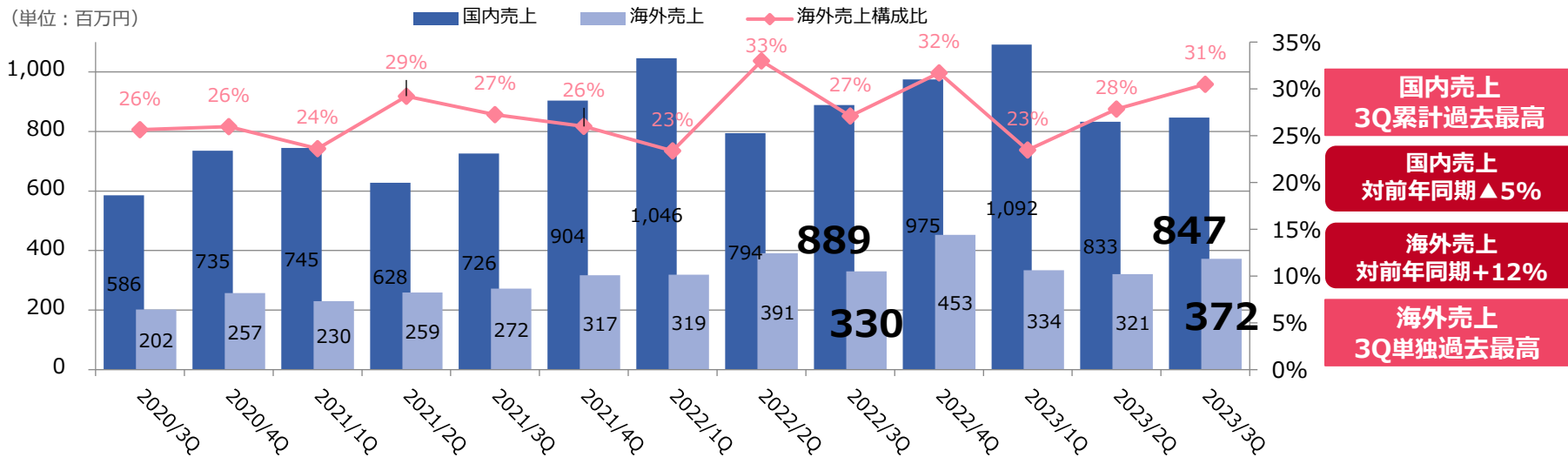
国内 粗利率の高い事業会社向けプラットフォーム提供拡大。ただし、O/Sでのサポート必須のためD.I.Y比率減。粗利率の低い調査会社O/Sは見直し。

海外 プラットフォームの柔軟性が高まり、粗利率の低いGlobalパネル会社に提供するO/SやD.I.Yのより細かな調整や新たな提供先の拡大。



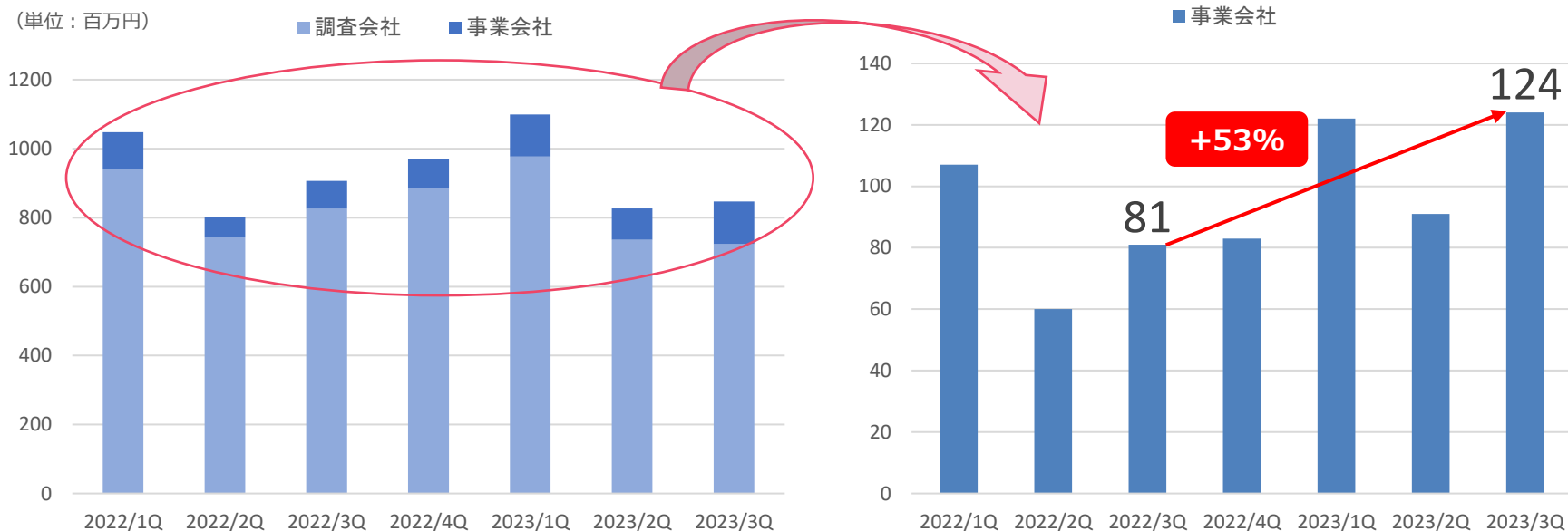
事業の概況 | 国内・海外売上高推移

- 国内は、前3Q比▲5%(▲41百万円)。高原価案件の絞り込みや特定大型案件減。ただし、事業会社への販売が拡大し、当該販売チャネルは約43百万円の売上増を実現。
- 海外は、前3Q比+12%(+41百万円)。欧米における大型案件獲得。



事業の概況 | 国内プラットフォーム強化の内訳

- 国内において、プラットフォームを主軸にした高粗利率の事業会社向け売上を拡大（3Q累計対前年+89百万円）



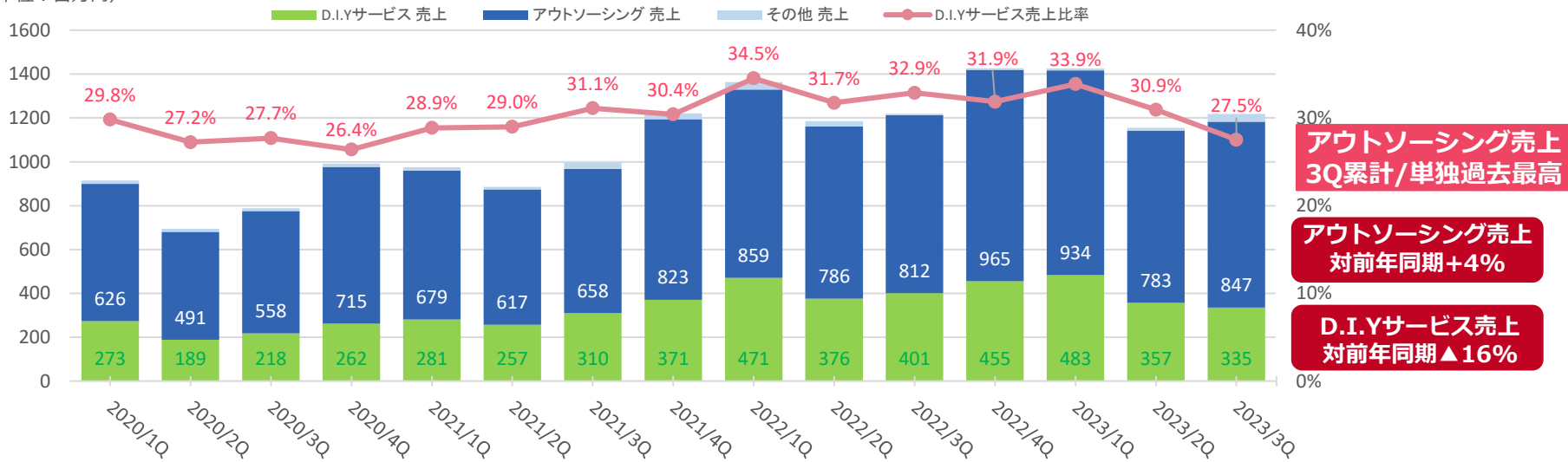
事業の概況 | サービス別売上高推移

DIYサービス売上最大化の方針変換（プラットフォーム強化）

■ アウトソーシング対前3Q+4%(+35百万円)

■ D.I.Yサービス対前3Q▲16%(▲65百万円)

(単位：百万円)



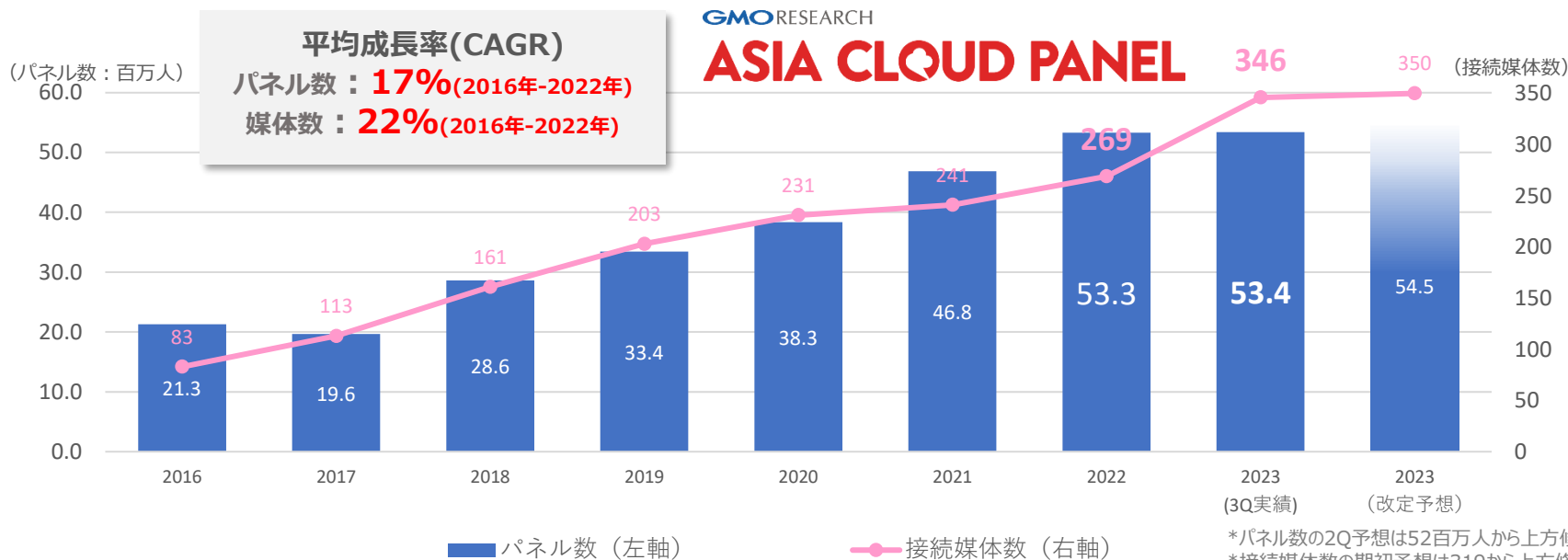
事業の概況 | Audience Engagement Platform

Audience Engagement Platform



事業の概況 | ①パネルサイドAPI接続数

- 上半期から積極的に提案をしていた各媒体より契約のオファーが増加。順調にディールが進捗し、パネル数が増加。
- API接続媒体数は346へ増加し、期末予想を改定。

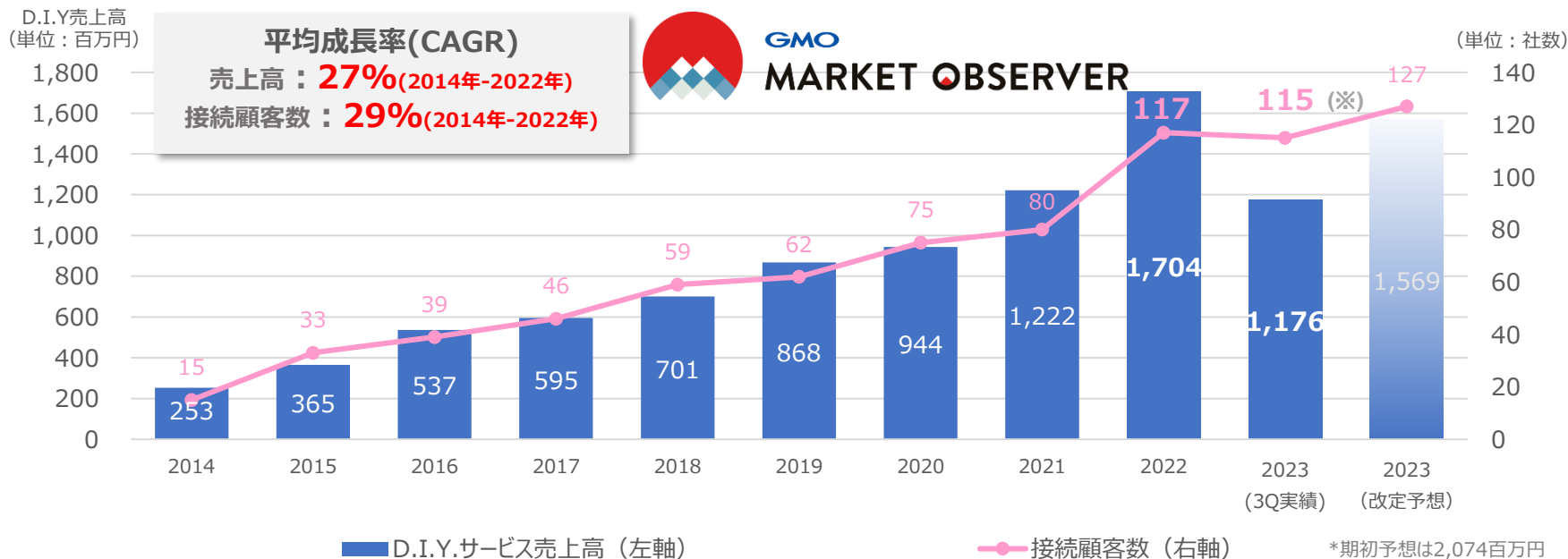


*パネル数の2Q予想は52百万人から上方修正
*接続媒体数の期初予想は319から上方修正

事業の概況 | ②顧客サイドAPI接続数

- アジアクラウドパネルへ接続している顧客数(*1)は減少。D.I.Yサービス売上高は、プラットフォーム強化の方針変換による進捗遅れのため、期末予想を改定。

(*1) アジアクラウドパネルへAPI接続している顧客及び当社Market Observerを利用する顧客（過去1年以内に発注実績があること）

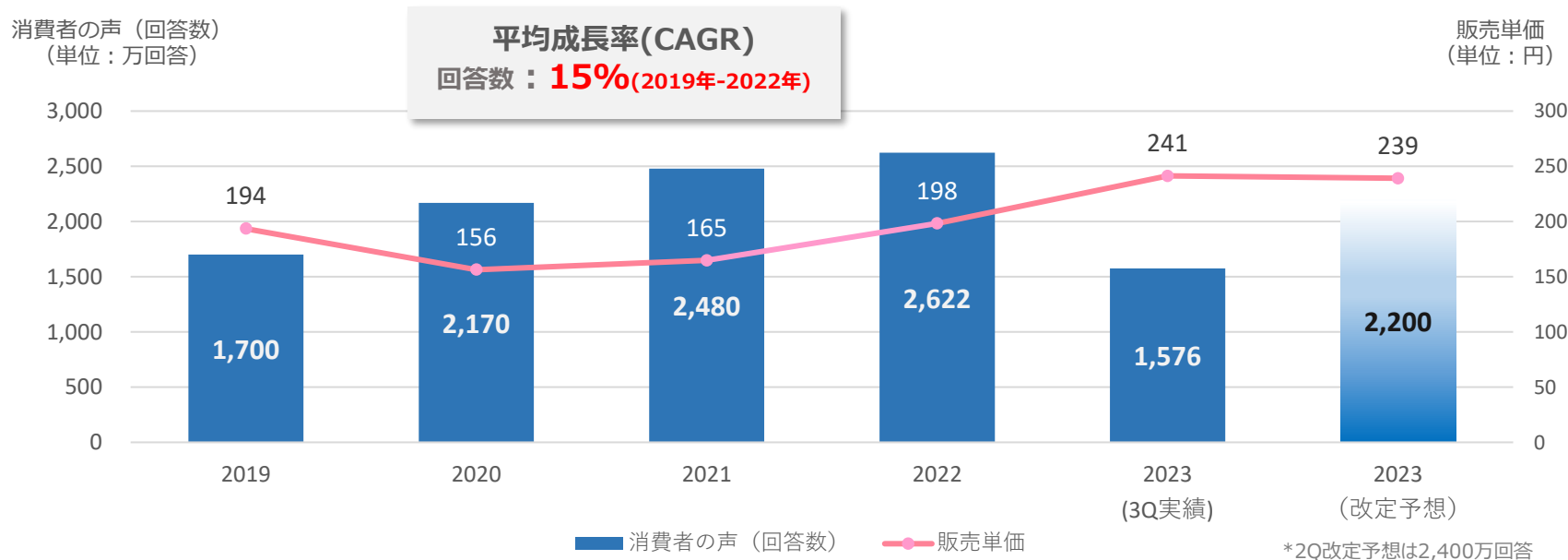


*期初予想は2,074百万円

(※) 減少の2社はシステム改修
11月再開見通し

事業の概況 | ③消費者の声（回答数）

- 世界の企業に届けた消費者の声（回答数）は、案件構成の変化、すなわち希少価値の高い消費者の声を集める案件の増加により、回答数の伸びが抑えられた一方で、販売単価は+22%上昇。この傾向は今後も続くと予想され、期末予想を改定。



直近の主なリリース

日付	タイトル	URL
2022/11/25	海外旅行に関する意識調査をアジア10カ国・地域で実施 ～行きたい国1位は日本、今後の経済効果に期待～	https://gmo-research.jp/pressroom/survey/voluntary-survey-20221125
2022/12/12	一時監査役選任の申し立てに関するお知らせ（一時監査役候補者決定）	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20221211577112_P01_.pdf
2023/1/16	本部長職・部長職の異動に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20230116589822_P01_.pdf
2023/1/26	海外旅行に関する意識調査 <第2弾> を欧米・オセアニアで実施 ～APACにおける海外旅行の意向と結果に大きな差～	https://gmo-research.jp/pressroom/survey/voluntary-survey-20230126
2023/2/21	事業計画及び成長可能性に関する説明資料	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20230220515204_P01_.pdf
2023/4/25	完全DIY型アンケートプラットフォーム「GMO Ask」サービス開始後、約半年で「ITreview Grid Award 2023 Spring」の「アンケート作成」部門『High Performer』賞を受賞	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230425
2023/5/23	GMOリサーチ、スマホゲームアプリのオンラインユーザーテストツール提供のPlaytestCloud GmbHと連携 ～「ASIA Cloud Panel」でスマホアプリのオンラインユーザーテストが可能に～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230523
2023/6/6	完全DIY型アンケートプラットフォーム「GMO Ask」、「ChatGPT API」を利用した「AI Report機能（β版）」を提供開始 ～AIテクノロジーを活用し、ユーザーの調査業務を効率化～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230606
2023/6/15	完全DIY型アンケートプラットフォーム「GMO Ask」に AI活用機能「調査票AIサポート（β版）」を搭載～「ChatGPT API」利用で業務効率化と調査クオリティの向上を両立～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230615
2023/6/22	GMOリサーチ、NRIシンガポールと共同で自主調査「ASEANアバーライフ調査 2023年」を実施～「働く」「暮らす」「楽しむ」における消費者意識が明らかに～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230622
2023/6/30	GMOリサーチ、クチコミマーケティングプラットフォーム「トラミー」運営の株式会社アイズと業務提携～サービス相互提供により新たなお客様のニーズに対応～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230630
2023/7/26	GMOリサーチ、インテュート・マージャーと「ポストCookieアンケートプロモーション」を共同開発～強まるCookie規制に対応する新たな広告商品を提供～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230726
2023/8/7	監査役の辞任および補欠監査役の監査役就任に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20230807535381_P01_.pdf
2023/8/22	インターネットリサーチ用調査パネル「JAPAN Cloud Panel」が拡大 CCMKホールディングスの「Tモール」が連携	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230822
2023/9/4	アジアに特化したインターネットリサーチ用調査パネル「ASIA Cloud Panel」に「Ghost Completes」の特定・除外機能を追加	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230904

Appendix

- 2023年3Q 連結損益計算書・連結貸借対照表
- 2023年事業戦略
- フィロソフィー
- ビジネスモデル
- サービス別販売先・サービス内容
- アウトソーシングサービスとD.I.Y.サービス
- パネルネットワーク
- 各拠点人員数推移

2023年3Q | 連結損益計算書

(単位：百万円)

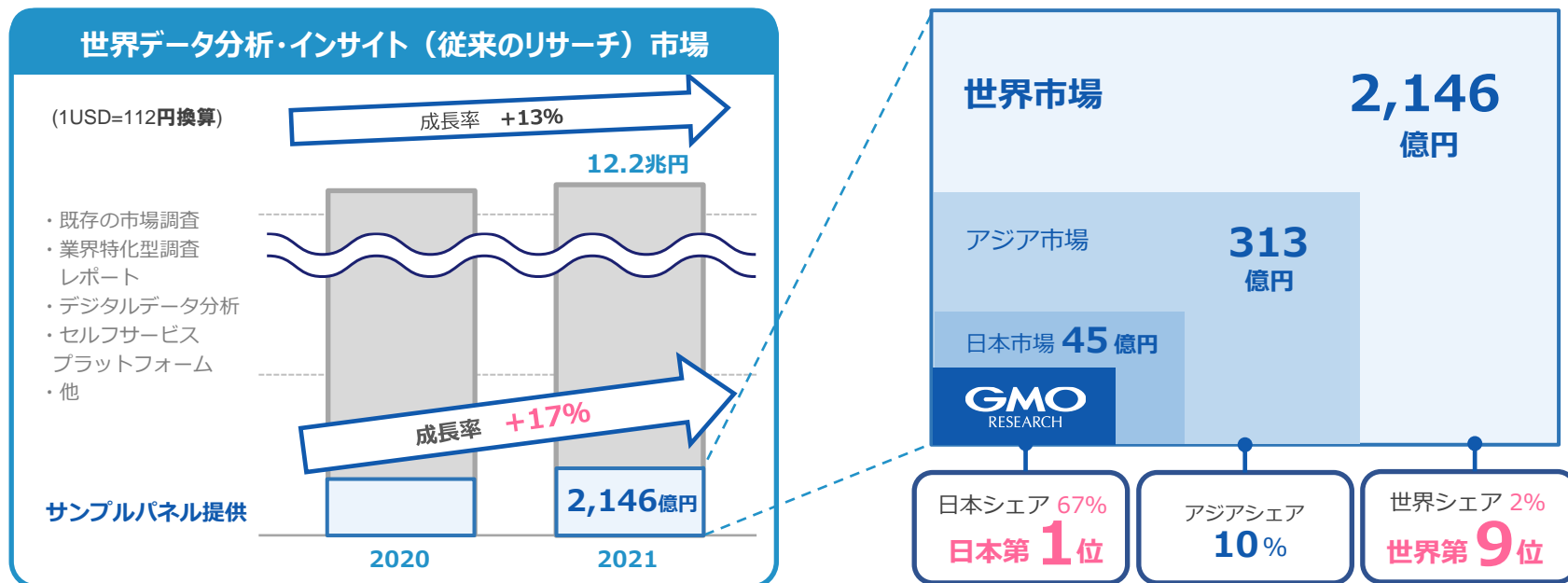
	2022年 1-9月	2023年 1-9月	前年同期比
売上高	3,771	3,801	100.8%
売上原価	1,991	1,953	98.1%
売上総利益	1,780	1,848	103.8%
（売上総利益率）	47.2%	48.6%	+1.4pt
販売費及び一般管理費	1,436	1,545	107.6%
（販管費率）	38.1%	40.7%	+2.6pt
営業利益	344	303	88.1%
（営業利益率）	9.1%	8.0%	▲1.1pt
経常利益	430	311	72.4%
当期純利益	318	217	68.3%

2023年3Q | 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2022年12月末	2023年9月末	前年同期比
流動資産	2,595	2,379	91.7%
現金及び現金同等物	1,167	1,358	116.4%
固定資産	476	488	102.5%
資産合計	3,072	2,867	93.3%
流動負債	1,148	866	75.5%
固定負債	14	15	106.7%
負債合計	1,163	882	75.9%
純資産	1,908	1,985	104.0%
(純資産比率)	62.1%	69.2%	+7.1pt

2023年事業戦略 | 世界リサーチ市場

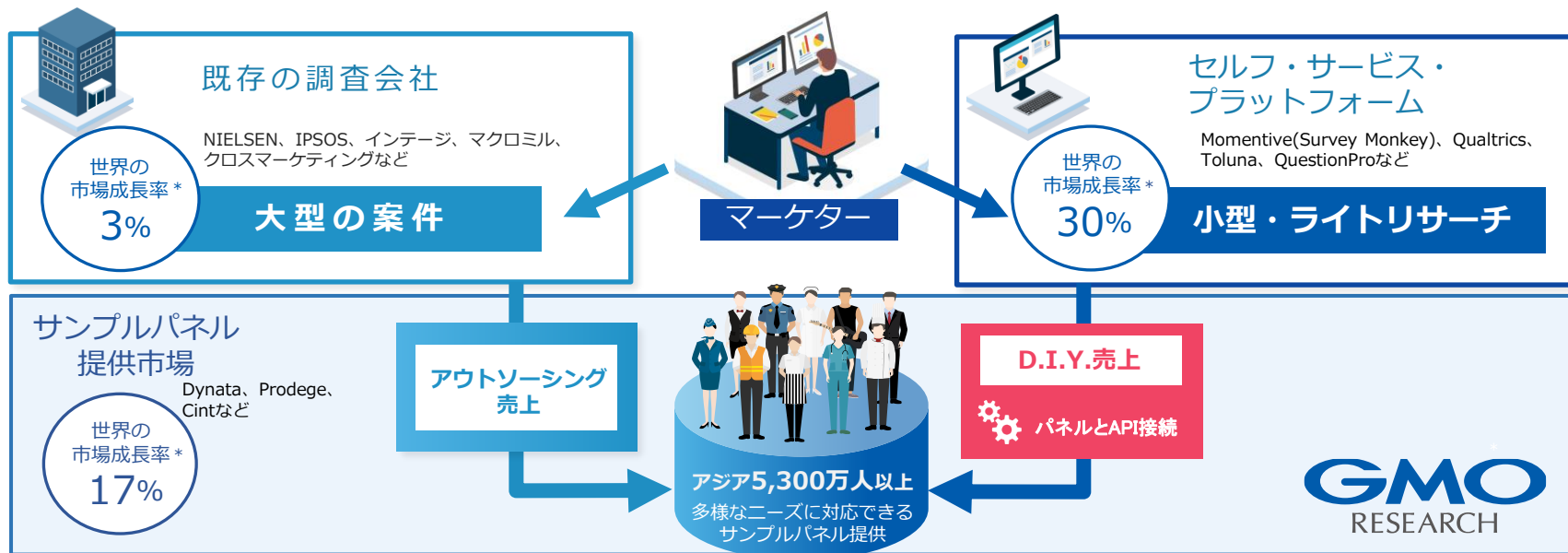
- 世界リサーチ市場において、**成長率17%**のサンプルパネル提供市場に注力
- 同市場におけるシェアは、**日本67%(1位)**、アジア10%、**世界2%(9位)**



出展：ESOMAR, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2024, JMRA第47回経營業務実態調査, 当社有価証券報告書

2023年事業戦略 | サンプルパネル提供市場の環境

- 既存の調査会社のオンラインパネル運用管理は引き続きアウトソーシング継続で、サンプルパネルの規模拡大とニーズ多様化への対応が進捗
- 小型・ライトリサーチ需要が増加し、手軽なセルフ・サービス・プラットフォーム活用が拡大
- ライトリサーチ・プラットフォームはサンプルパネル提供会社とAPIで連携推進



*成長率は、2020年と2021年の市場規模比較により算出しています。

出展：ESOMAR, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2024

2023年事業戦略 | 業界トップクラスの収益力

- プラットフォーム提供事業は一般的マーケティングリサーチサービス提供会社(*1)とは業態が違い、収益力(一人あたり売上高)が高く、スケールメリットが出やすい業態です。直近3年は年10%の収益力向上を実現しており、今後も継続向上予定です。

一人あたり売上高 (*2)(*3)



(*1) 日本国内で上場するマーケティングリサーチサービスの提供会社
M社: 株式会社マクロミル
I社: 株式会社インテージホールディングス
C社: 株式会社クロス・マーケティンググループ
N社: 株式会社ネオマーケティング

(*2) 比較対象会社の財務数値につきましては、各社が公表している有価証券報告書・四半期報告書に記載の数値によっております。

(*3) 一人あたり売上算出において、従来は、従業員数および臨時従業員数の合計人数を使用して計算しておりましたが、従業員数のみに変更しました。

Appendix | フィロソフィー

想いを、世界に GMOリサーチ

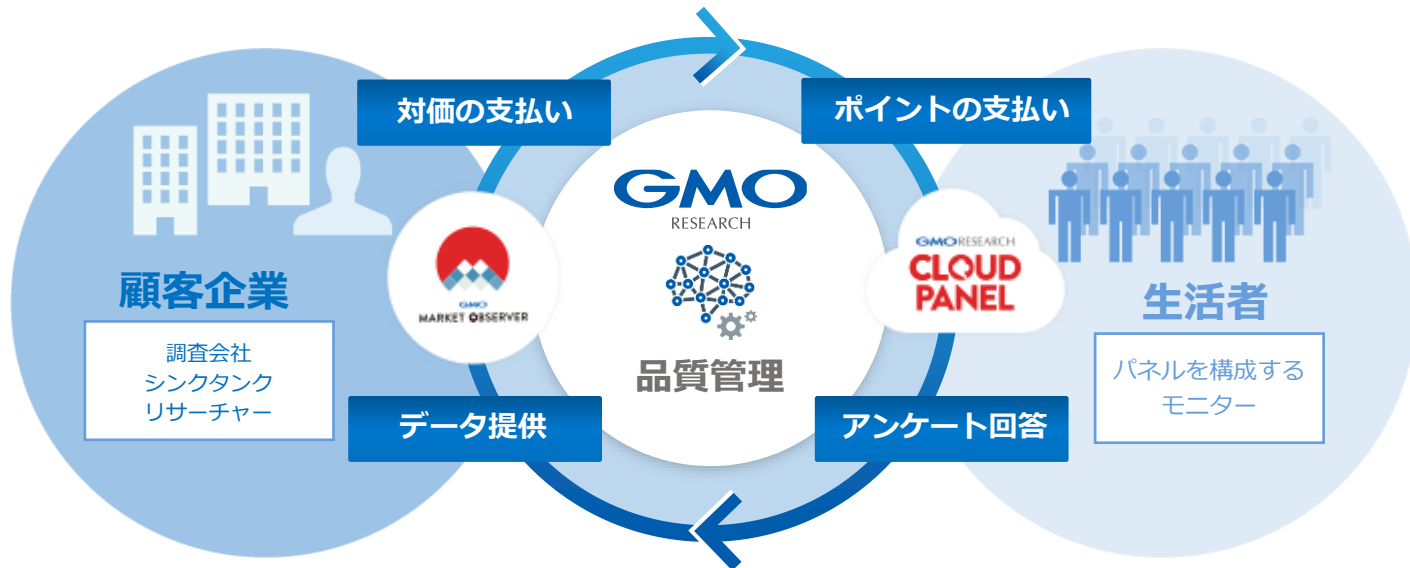
～私たちは、生活者と企業の「思い」に向き合い
わくわくするアイデアやテクノロジーで「世界」につなぎ、
笑顔・感動の創造に貢献する～

Appendix | ビジネスモデル

- アンケート調査を行う顧客企業とアンケート調査に回答するモニターを繋げるプラットフォームをアジア全域に展開

Audience Engagement Platform

消費者の声を企業に届けるプラットフォーム



Appendix | サービス別販売先・サービス内容

サービスの名称		サービスの内容
アウトソーシングサービス	Full Service	オンラインのアンケート画面作成、アンケート案内配信、アンケートデータの回収、クリーニング、集計といった一連の工程を一貫して提供するサービスです。「MO Insights byGMO」(*1)はここに含まれます。また、アドテクのプラットフォームと連携した広告業界向けサービス(CPAT)も提供しています。
	Sample Supply	顧客が自社内でオンラインのアンケート画面を作成している場合に、当社グループが回収管理(プロジェクトマネジメント)を行い、顧客のアンケート画面に回答結果を提供するサービスです。
D.I.Yサービス	Self Sample Supply (SSS)	インターネットリサーチにおいて、当社グループがサービスインフラとパネルのみを提供するサービスです。「MO Lite アンケート byGMO」(*2)及び「MO Lite インタビュー byGMO」(*3)が含まれます。
	システム関連売上(*4)	当社グループのリサーチソリューションプラットフォームであるGMO Market Observer(*5)を、顧客のリサーチプラットフォームとして提供するサービスです。
その他サービス	コンベンショナル調査など	コンベンショナル調査は、オフライン(現場)で実施する調査手法です。

*1 MO Insights byGMO

消費者への定量・定性調査をオンラインで完結できるクラウドソリューションです。

*2 MO Lite アンケート byGMO

顧客が利用するDIY型(セルフ型)アンケートツールから、国内・アジア最大級の調査用パネルへのアンケート調査ができるサービスです。

*3 MO Lite インタビュー byGMO

国内・アジア最大級の調査用パネルへのインタビューができる、パッケージ型のオンラインインタビューサービスです。

*4 システム関連売上

D.I.Yサービスのシステム関連売上は、当社グループはシステムのみを提供するビジネスモデルです。

*5 GMO Market Observer

当社グループが開発・提供しているインターネット上でリサーチ業務のすべてを完結できるリサーチソリューションプラットフォームの総称であり、「Market Observer」は当社の登録商標です(登録番号5671869号)。

Appendix | アウトソーシング/D.I.Y.サービス

		アウトソーシングサービス		D.I.Y.サービス	
		Full Service	Sample Supply	Self Sample Supply	システム関連 売上
サービス名称 業務工程	1. 調査設計	顧客	顧客	顧客	顧客 (注)
	2. 調査画面作成	GMO Research	顧客	顧客	
	3. プロジェクト マネジメント				
	4. パネル管理		GMO Research		
	5. Cloud Panel利用			GMO Research	

(注) お客様の中には、当社のCloud Panelをご利用にならない場合もあります。

Appendix | パネルネットワーク

- アジア16の国と地域で5,342万人超の業界最大規模のパネルネットワークを構築
- 大型・複数ヶ国にまたがる案件に対応可能であり、競争力、提案力が高くなる
- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルを質量ともにさらに充実させることで、アジアの調査対応地域の深耕とエリアの拡大を進めます。

 infoQ GMO <https://infoq.jp/>

 日本
25,276,000

 中国大陸
18,392,000

 infoQ GMO <https://infoq.vn/>

 ベトナム
997,000

 韓国
783,000

 Z.com Research <https://knowledgeprovider.z.com/>

 インド
797,000

 香港
38,000

 Z.com Research GMO-Z.com ACE Co., Ltd. <https://mm.zresearch.asia/>

 ミャンマー
26,000

 台湾
943,000

 Z.com Research Net Design <https://research.z.com/th/>

 タイ
875,000

 インドネシア
2,386,000

 Z.com Research <https://sg.research.z.com/>


 シンガポール
58,000

 アラブ首長連邦
500

 フィリピン
1,401,000

 オーストラリア
108,000

 マレーシア
1,323,000

 ニューージーランド
13,000

アジア **16** ヶ国
5,342 万人

(2023年10月現在)

Appendix | 各拠点人員数推移

(単位：人)

各拠点における正社員数の推移

	東京	下関その他	シンガポール	マレーシア	インド	中国	米国	合計
拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> 本社機能 国内欧米営業、PJ管理 国内パネル管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 国内PJ管理、国内営業・営業補助 国内パネル管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア営業 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 アジアパネル管理、開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米/東南アジアPJ管理、営業補助 ローカル営業 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 PJ管理 中国パネル管理 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 PJ管理 	
2019年1月1日時点	86	18	3	4	14	8	-	133
2019年7月1日時点	94	18	3	5	14	8	-	142
2020年1月1日時点	94	22	3	6	14	8	-	147
2020年7月1日時点	97	24	3	6	14	5	-	149
2021年1月1日時点	102	27	3	6	15	4	-	157
2021年7月1日時点	106	26	3	9	16	6	-	166
2022年1月1日時点	108	28	3	9	17	6	-	171
2022年7月1日時点	112	29	2	12	16	7	3	181
2023年1月1日時点	112	33	2	14	20	7	3	191
2023年7月1日時点	109	37	3	16	23	7	3	198
2024年1月1日時点	108	37	3	16	23	5	3	195
半期人員増減数	-1	±0	±0	±0	±0	-2	±0	-3
補足	オペレーション効率化による人員減					業務効率化による人員減		

想いを、世界に — GMOリサーチ

GMO RESEARCH

Engaging people around the world

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。
従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。